

# 2023年度青年部会方針

大阪府中小企業家同友会青年部会

部会長 昇 真吾

## ▼青年部会方針

### 「部会風土の変革 第二章」

皆様、青年部会の中で本音で語り合ってますでしょうか？

2022年度の青年部会方針は1年で成し遂げられるものではないので、

今期、同じことをもう一度言います。

綺麗な部分も汚い部分も曝け出して、邪魔なプライドを捨てて語り合っていますでしょうか？

青年部会の活動は、良い経営者になる為に行っているはずですよ。

良い経営者になるのは、良い会社を作る為ですよ。

売上げが下がって、利益の出ない良い会社ってありますか？

株式会社の正義は利益を出す事ですよ。

社員との関係が良好で、働きやすい環境であることも大切です。

ただ、売上、利益を上げるというのは経営者としての通過点でしかなく、そこから社会になくしてはならない会社にしていかないとはいけません、まず利益を出すところが経営者としてのスタート地点だと僕は考えています。

参加することでそれを実現できる部会にしたい。

経営者は忙しく、貴重な時間を使って同友会に参加しているはずですよ。

見栄混じりの話を聞いてもらっただけでスッキリして帰るような部会にはしたくない。

行事を作っていくことで組織を学び、その行事に参加することで経営手法を学ぶ。

そこで得た学びを持ち帰り、自社に落とし込んで、少しずつ会社を変革していく。

学びと実践を繰り返すことで良い経営者へ、良い会社へ繋がるのではないのでしょうか。

その基本姿勢を、大阪青年部会は大切にしたい。

学ぶことで、少しずつ会社は変えていける。

学び続けることができる人が、変革を成し遂げることができるのです。

そのために役立つ行事を企画するので、この大阪青年部を大いに活用してください。

作る側も、参加する側も、誰もが学び、そして実践できる青年部会へ。

この場所で、皆で会社を変えていきましょう。

#### 1) 例会の変革

同友会における学びの中核である例会の内容をより充実させ、作る側も参加する側も多くの学びを得られるようにします。

- ①会社の売上や利益、社員や顧客との関係、決算書を読み解く力など、会社経営に直接繋がるテーマを設定します。活きた情報を学ぶことで、持ち帰ってすぐに会社経営に落とし込み、実践することができます。
- ②会社を伸ばして結果を出している経営者を青年部会の外から報告者として招き、知見を広げます。（渉外例会：3回／年）
- ③大阪全体を盛り上げるため、支部との連携を図り、合同例会を積極的に開催します。  
（合同例会：3回／年）
- ④顔を合わせての学びを大切にし、報告者の熱い思いを直接感じてもらうと共に、グループ討論の充実を図ります。

## 2) 共に学ぶ仲間を増やし、より強い組織へ

会員を増員して組織を大きくすると共に、会員間の繋がりを深め、学びの基盤となる組織の強化を図ります。

- ①今年度より入会資格者の幅が広がったことから、増強活動により力を入れ、会員を増員します。
- ②青年部会ならではの交流を通じて、会員間でより親密に関係を構築し、互いに本音本気で10年後20年後も語り合える仲間作りの場所を育てます。  
（新歓車座3回／年、忘年会・BBQ・ゴルフコンペ等交流行事）

## 3) 他府県及び支部との交流を図り、より高いフェーズへ

大阪青年部会内に留まるのではなく、渉外例会、合同例会を通じて他府県や支部と積極的に交流し、より多くの人と関わることで学びの機会を増やすと共に、レベルの高い経営を学びます。

- ①支部との交流は今まで経営をしてこられた先輩に経営の根源を学ぶ為に行います。

- ②他府県との交流は同年代の意識の高い人と関わることで刺激し合い、切磋琢磨して新しい経営手法を学ぶ為に行います。

#### 4) 組織運営の効率化

青年部会での活動を通じて、自社での組織運営を疑似体験することができます。より合理的で効率的な組織運営を学びます。

- ①より効率的にいい例会を作ったり、目標を達成するために無駄な会議をなくします。
- ②懇親会後の飲み会は次の日の仕事に負担がかからない、影響がない時間までとします。
- ③イベント作りなどの目標を遂行する為にしないといけないことを細かく分けて、会員全体に少しずつの役割を持っていただきます。